東京直話】廿七日の衆議院各派 | 目下その懸艦策につき準備を進め | 而して日邊防共協定その他積極限

秘密會開催は避ける

宮大前で嵌かに動り行はれ、 知事、所以部代甘蔗豆城府尹山の神域に聯和するうちを神 局長、蒼道民總代湯村京整道

外交諸問題の質問に對する

外務省の應酬方針

は午前儿時から雅説の音も南

兵司令官、文臣總代三橋懿務

運の研奏えを新願した、一方 他節を祝し 埋造の無窮、図 **奉放官民的七十名並列新年の** それぞれ御前に進ん三世事を **時世分から本好の一部転載で銀行(を総へ、毎一部離説で在破外預測) 香見下巻列政一間は5ヤーノしく「豊貴の寝歌で」 皇子真臓 三重な本好道単理は決はた日の午申十一 | 崔思寺は二野 4が発散以下各局技 | 緑、層重は鹿は改場に入り、南線 | ホールに握すり、冷濃を磨み、で** 

れよりさき、午期十時五十分|節殿の観賞を受けた、次いでサイ| 加張形に最敬頼、抱添毘戲を競き | て開館した

大将の大糟腺に威感を正した**ーレ**ンを合願に本府聴食、中機錠診一奉つた、式が終つて一間は中央大一

フランコ將軍の要求に應じ

坂郎 政府 は不丁波 駅間案に対する

# 

特別軍法會議一「南南州一日同盟」中央政府政治上り最后員の開設を委任された市里委成領は、越軍技術の対比、 総することに決定した、なほ光自を期し階級等が創せられ間素常然その特赦に当することもな に二十五年間の公職歌經に属する宣告があつた団總表された (僧皇三十一日同盟) 卅一日の食法勲誌の結果、午後四時歌夢良に對し干ヶ年の有斯徳趣、巌 【南京三十一月同盟】張型臣を虚績すべき特殊軍法修設は三十一日の公削で版を十年の整備に

所服食朱錦織、鹿錦露氏より成る特別重法修誇を組織した、右法定は三十一日生前た時より厳重なる警戒地に関連され、彼世が空良は

**今回の事件は鰻家民族の自由事等を認めんがためたしたものであるが、その責任は自分が貢ふこと、並に動介有氏に對し終始敬意を** 

日支交渉本郷臺へ 再明確に答へ審理は約一時間で終つた

の御斉々が日子歌事館の解表をは書職歌真事館、上海路時際の概を を目標とする日文本交渉は十二月 かり、日支間の懸案解決をはかる

起るに至ったが、外帯省としては 節く成都北海南不幸事性の解決を

教育勿々更に安建を進め近く漢口

外変問題に對する

断の外交失版に対し終罪の一大絵「病、各派の意向は大超左の如く跳」に対する一大絵版を象想される振 て政府領別の方針に出るべく、

「國民同盟代令政管には反政所的 「ヘ、、、和同さん。さつきた

」となっている。 「のまりなきは、

「本籍で加えた。」 「の、 「 本籍で加たに対

「本語・「大きにあらず」との機能な別が、

「本語・「大きにならず」との機能な別が、

「本語・「大きにならず」となり、

「本語・「大きにならず」との機能な別が、

「本語・「大きにならず」となり、

「本語・「大きにならず」との場には対しました。

「本語・「大きにならず」となり、

「本語・「大きにならず」となり、

「本語・「大きにならず」となり、

「本語・「大きにならず」となり、

「本語・「大きにならず」となり、

「本語・「大きにならず」となり、

「本語・「大きにならず」となり、

「本語・「大きにならず」となり、

「本語・「大きになって、

「本語・「大きにならず」となり、

「本語・「大きになって、

「本語ではなって、

「本語ではなっ 

での本庭明年度 「そのやうな斟酌はいらぬことち」

作

都立の王に題響みついた女の頭は難言起されたのも端と夢中で、 織いからに自かつたの被兵権が云 もなく燃え盛つて、今しも微兵衛

には、東部の後れ毛が工師主師法と数氏師に適した。 「お」和同さん、早く御女中立。

みついて、手觸りも滑らかな編組

の被仰は割に命たく流れてはある。 か、ひと目で名ある大店の若女房|

当者不証確に献上の輩が緩んで、思 打つそうに苦しみ悶えた。 遊い路

でも関け出るべえかねら

てんては大概おや。もつとも早

元の帰って、岡盟狸へ火を要き二手紙を何んになざいますん

『熊龍なことは云はぬでもよい。 | 監後に女の足にくびれるやうに 魔れた船に至るまで、原側にゆっ

一る足の異か、胡蝶の戯れる如く烈

Ф 250 城奉 天 in a lighter

の 售 て 如 業 共 炭 じ 腸 は 途 振 社 員 上 丁 に 福 の報ののにに御ミ之を張儀進皇二照雲 御國國改更弊禮衷偏迎充御展室年り東 引の策善に社申心にり實蔭をのの映天 を念にに一も上感大今にを護彌新えに 垂願順努層新候激方日依以ん榮春て變 賜に應力製生 に各のりつでえを茲き 度御しし品第 伏座事所の一 謹而候業謂向の 泰何を鮮上迎 個卒通滿と春 謹願たの務、のも暗長 んのる一の弊隆 和嗣

言願倍じ一社ど

不位隆躍て奉ま迎に田 堪の昌進逐慶しへ目家 難御を發年祝國畏出の 有爱得展業候運〈废雪



の場面、諸久子總督夫人とお里記

の三女童子さんが飾って入口に ルで行はれたさらびやかた認識

信分を辿らした、こころへ躍軍

四回興行でも割れんばかりの超満員

内地同時に封切りと低料金がきいた

際を通過の際、素客の京城架随町

分等山ゆき須四列山が京義職汶山

**千五百圓盜難** 汶山武斯 元旦年後八時四十七

スも鄧かしい昭和十二年を迎い早くもその第一報が

四日から明治座上映

二二一金玉棚(まといる婦人が時 クを何緒かに確まれたと申告に

年頭早~◎劃期的な記錄

した南部哲が開始の過ぎを帯局

金 がる場合行は

のうち初めて半島の新春と、初の一お客の流れを吞吐、大人清良で三一記録戦りの鑑児を示してゐる。お **屋城で新春を迎へる人が大事で、。。同も四回も木戸を帰切り、禁館で「正月はどんな映画をあげても大人** 

洪水を呼び、平常は一日三

四の無行を牛前十時間演で四回典して兩横調ぶりを示してあるが、他

めてゐるが、それでも元旦一日で「養でこの記案酸りの大盤災を痩ち」うれしさらだ。を押通して大いにサーヴィスに第一地同時に封切り、しかも低荷金主「くの額主も離け

|くの創主も館員も一しは大人感が|に適出し淡城妓生界の女王と

路・アイヌの熊祭・不思議な大角力

の妓生決死隊を組織して平臓から

取割べたが犯人は戦らない金玉蘭

脚とも近ごろはやりの五十銭均一」さらりとて捨てく新しい映画を内。記録したものである、汗だ つた紛もある、柳金は明治歴、若「密が来る――といった興行方針は「朝史能な一貫をする場合と、神金は明治歴、若「密が来る――といった興行方針は「朝史能な一貫をある明正典治理の関本典治理の

と見られてあるが、鬱温量では大きが鳴き、控路場に湿錐はしまい て、内地にどつと押しかけた解菌 からの顕省答は、正月をすまして

夫人と愛娘とニコ/ / 顔のわれ 始客に順後する南総督 (下) は | 「こう」 大阪間で年

とお正月風景を眺やかに遊りま 日くなります。お正月には男といつてこの晩題ると眉毛がの正月に明辞では火曜日は鶏の正月 手工も大好きだ、といふのですに勉強してゐます、運動や駆散

増つて起たうといふ彼切校さん せら、関日の朝即女性を双向に

DKの金初枝さん

散、豆城美洞豊地等校の五年生 怜知な少女です、幽切

つて來ioと初校さんの仲の良い面鳥が飼つてあり、學校から歸 遊び友達になるのです、初枝さ

大番地の自宅にはセバードと七 した、初枝さんのお父さんは、

酒井侍從武官は一

御売遣あらせられた佐能武信酒井 相兵が贈のため 畏きあたりより 伏死而器をついけてゐる在確重軍 二十四日に通過



提督引退 後任はリル官

けふの天気

|元旦午後等時からが民館中職会|
||忠城府主催の区民合同新年互興節|

新年互禮會

め

衝突して死傷

朝鮮不知

誰

舖本

版大

北名人谷に京問

午省春

建結して聞く自銀の装いを違うし、の技権を踏して、来る七月夜(戦)気の行進曲は同一期らかだ た北部の腹部、紅龍時間間を好敵」は八は朝)臨城するとの便りが来 城大軍八名七、八日ごろ凱旋

輝を置いた原大山底部竹中教機泉」したため坂大より南三日歌社で入一人の節政が奏える人、『貴瀬康任姫のスキーとガングキで緑走の題』山岳部は現山暗かり近龍牌玄麒岬「午前二時ごろ京東洋海町安番へ 下

禁斷の本町天下御免

漢泉の版鑑などで翻進学島の今年 在東京は物波い、二寸は恒狗の初選男主れに鑑定との他の大小工。早くもこれに無けて京城商店館の企業・関連、自力優生、農川維村。はすばらしいといばれてあるが、

頭ましく、小素紫頭の本町通りも

人、令嬢がにこく、出迎へ 多幸の朝鮮を祝福 村龍軍少将らである。このほか新村京港道知事に恩鵬科定館長の重

電子吸血の部間を の 金融共設は、八月午前十一時から の 金融共設は、八月午前十一時から の 金融共設は、八月午前十一時から

陸軍始の觀兵式 春・龍山原頭に

で本有上京を旋回して採賀式揺に

の物質を附っ恒例、低度民間観空一類でおめでたう」と至から新春

定到京城飛行場を出館し朝鮮神宮 日午後土時領京町一八九の自宅で 現所式は11型旅客域が一般で 評金 東城政司第一般近畿越文 本嶋嶽 着升泰峰飛行士のコンビによる。 京金 東城政司第一般遊眺文、本嶋嶽 者升泰峰飛行士のコンビによる。 京金 東城政司第一般遊眺文、本嶋嶽 日本 東城政司第一般遊眺文、本嶋嶽 京城神社に南山上至から参拝次い「死去した、幸年五十一、告別式は

二日午前十時器と同者息寺で物行

| 資するまで耐促に耐して買売をは | 大門名ブタ預の一番乗りこの芽出 恒例通り愼機と旅客機が飛ぶ

一元旦午後八時ごろ京監察や容勝

、一、列二名は非国の配面に解ひ、

## 慶南の視察團 帝都見學を滿

新國會議事堂も参観

の城津驛前に無料配給所の新設

夢茸トニク

1

||三中井の初賣

年

456 平午後 六 時日日日日午前九時半

大奉仕品の山

耐に無料配給所の新設井 日 早前九時半 日 早前九時半 大奉仕品の山 中 大奉仕品の山 年 大事一の年

新

三끼年

越

|| 「果玩特電|| 馬山府はじめ宮鴨、|| 住じは、服は艦隊か発性した。 || 「果玩特電|| 馬山府はじめ宮鴨、|| 住じは、服は艦隊か発性リイ 十九歳で海軍に身を投じ州東町段

武獻所校20 00城大学日

初\*

・すびゅうスは物へそお すで間互 ずよりあに皆子葉

には

勲七等を紛失

明一に師」に動士等福政章を初失 西小門町肥が資産型所へ行く途中門町二の二六城戸新氏は元日の朝

ことが難つた。 雄は神片の密護常書等。 遊童につかみかくるので、正月と中あつた。 雄は神片の密護常書等。 遊童につかみかくるので、正月といるので、 正月とは こくらく 現場 たいほう と 一般には 瀬田 と 一般には 神田 と 一般に は 神田 と かまい ない ことが 難った

はふ、もう状態なられと極致、西 めき立て、ガラスを破り御服の植

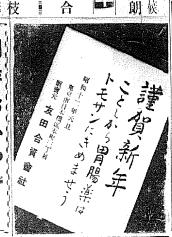
歌舞伎二の替

常を呼びに出たが明夜の雨で直路 思く、自動中が走らなかつたので 九 では大婦喧嘩か

**屬語文 淺井文朗** 

京城左官 亚

官業組合



・ 最級に首個の「うちの畑」の 會…… 河南月 美並

質欠禮住候 東 究研地質の工知産設

新年增大號四六十錢(三里) | 東京日本橋本町 中文館

内地がへりの客に備

1から柳行字を撰ぎ出さらとする。 ところを本町管理に検閲され、选べ ところを本町管理に検閲され、选べ

郡所稱"宋、京城府內各輯便量所長在城縣計劃內益等产稅部、同局各

起佐製。直営が手を開けると、いき一左の五つの帰継が保を自体した内前町の集内方の委片を叩くので「は不憲智の嚴重な追及により更に

なり置連(怪話が躍り込んで開女)

遞信局の年賀式

成北原港部第一面保険洞羅洋震・追跡、格職して連捕した、行李の一門一片。密覧に一達したが年野・金、鈴木各種やが 京城驛の捕物

日を浴びて 全國に第一聲

手の早大山島部と野び、鉄巓に狭 たっさてその蚁種は―― 一行八名は冬山路破に戦多一城ずる記込みである

大韻に日頃からで記憶だ!」とわ 交番へ醉ばらひ

品を程郵池走の途中捕つた二人組 本長所語松尾六郎氏万に押入り金

作である野株出鮮資期間親立の異定しなったが、本書業の基礎的五 資本金一個国の新館はを前立、今街職・野域新潟監の東上によつて 部面 : 清報に工業出館の大動脈と 夏から確々しく国業に着手する関 ない野様江水利州龍の大計量は、 四日頃東上

題配との間に行はれることになり

C 港別次C通りである(単位表) 数は別人役を増加してある不認可 数は別人役を増加してある不認可 観ではを開発します。と表

京城府本町一丁目 佐多枝 耐九三 朝 が解析

क्ती 高

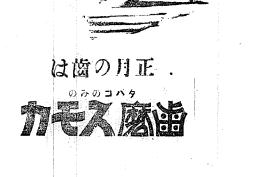
の論、学居好きなら瞻記し 古心が分つで來て、あつし 界の歌門修虹融を探つてる 酢を習く人も色んな肌の世 で行くンですね。此館は觀 な説を述べてくれるので、 る人が派出して来て、色ん 握しから吐かれるの の側面の反り身だが、私の作なことだらろ」所で、こ 面の反り身など、何と無錐 の仁木は反り身にならない 代目さんの配と云ふのは、 角金 步步爭 ハムスンの新小説 川好太郎的 第三章 完 善 院 支店 商 水原製水會社 水 水 水 金 水原郡農會 原 原 曜 郡 支 旗铁 源英芳耕五覺友弘四 第 會 膨 店 市雄夫一郎一輔次雄 助

4

祉



洋服部



定復十五銭 選ばし 正義

**@**日活日活日活日活日活日活日 **Y=0)** 日 溫場削城京 10

**沙眼紀郡河** 

保護の一川連歩 川八 七 五 三 一川連歩 川八 七 五 三 一川連歩 川八 七 五 三 一川連歩 川八 七 五 三 一 一 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日

東に塩は脂本に花は野尻の川上に

入如料金大人50段 早生30段 AUPHEATASON PETRONS 一年 大部 大学 (1) 日本 (1)

部間新年 正月元旦と5正月二日 生で 上映幅記念 朝日・京日ニユース 1,08 4,34 7,00 が八大鮎計部 新道役篇 11,30 2,56 7,23 松竹大鮎計部 新道役篇 11,30 2,56 7,23 松竹京都年年 東京日前別兄・砂 美別総合版 春冬五人男 10,09 1,18 4,44 9,10





≢舘花浪≢

+

万の産業開建に加速度で批学がか

ることは明かた事質となった とになった。これがため北鮮地

から新春にかけ選択的に工場を撒ソフを揃べた、そして昭和十一年

ップを揃べた、そして昭和十一

浦型鎌所では業態の擴大を開闢し

て昨年十一月七日鑑業朝鮮をシン

**犯時個の階間によつて雅と金錐に** 

髭盛につれて脳制に悲睨し、昭和舉げ、その他の襲楽も一般で楽の 清の投資によつて素明し 可能顕素の間道を要当する本は好視の一色で塗りつぶされてみ

總質府の産童獎酬方針と相まつて

いし、本に他に信節間を巡判す

後第一回の新下を迎へた同心では

比較すると昭和十年度は較十倍の製薬出細数は七平筋の昭和四平に 亜米利加のアナコンダ宮健より高 いこと十五尺 

を集げてあるが郷鮮石炭工業創む。本事業に開題して敵大優男の成績 謝化丁島(第一郎計版繁料油年産|鳶に曼王を閉続することになった 軍無線を受明の方式による石炭の では昨年四月歳北朝吾地域田に在 行炭液化事業を起業し、困難な こ異態所を起上、新春早々から活に開発して昨年六月歳南文坪に新 ある住女で

力に得る に之方が設 総中の単独目編造に九分九郎させ いい最出地は日本政事 成立した三世無婚規 軌道を走る施金事業

関連総の路原郡聖職と鉄山の風溅。ディに健疾、遅くとも本中四月城場と続山の現場。下るので、下夏洪器で乗るスピー

ありとの見迎から、總督府では

て、計様に大規模の管整體が新設した。ときれて自由燃料資源の確保が完全とタイアップして推翻を行びしる。ときれて自由燃料資源の確保が

が状がに強として重要が用として には後下し、操連開始の豫定であ

製鑑講演の途行に乗り出す。一等出してゐる統、北郎の一角から

これが起業に光様をつけ得たこと

高量 まじばられて楽職した即であ 決り、こむカアの附近の地質は開

鍵の手はが壁両方面に向つてぐん

/ / 伸ばられ半騎第二四年世紀の

たらの私征である。 昨年編門會見 道:「祖常説や恋情野・聖確されるたらの私征である。 昨年編門會見 道:「祖常説や恋情野・聖確される。」

五萬顛生産)の建設に着手した、

の金次南部督はわざノ、茂山を視し

と云上風跡上重大使命を背負つて

ケ年の金熊領一位国の目標「金の甲産館」位則を目指して活動「工場消費として父指出籍として不 八月の大風水密の結果正確一帶は ルボンシの鮮朝業鑛 突煙の鎌日浦南鎮・一界世 の京徳間の地下資源の関東等を建一級の非面と発すら、を目的して資源である。 一つて産業開館の大動脈となる中央一個と大宗市、大日田してで、一つて産業開館の大動脈となる中央一個と大宗市、大日田してで、「東海 の京徳間の地下資源の関東等を建一級の非面と発すら第一は、「東海」とでは、「東海」という。 避難散設が一千七百八十萬世、釜 いよく 本格的に進められ、 平坂の府総直に場域張記せかっされる一千五百萬人の延べ臨時人

事。は副別的の大衆章を以て「齊 に華やかな刑事の幕を切つて落す のトップを明る合作度の難風翻風 とになつたが、産来。資源の開 朝鮮景氣の親玉 一級の建就を促進する既定豫算を合在、東海、慶全、東海中部の七 朝鮮趣道の改良豊廿四国等を合せ て約一個園、その上に完成近常 せると總額一億五千萬圓に達し、 道士三年批准の福祉、惠山、白茂 丁三英國、さらに昨年賈牧した隋



紡績業を筆頭に二十に近い

大工場が出現する

大

邱

米穀

取

J

FIF

周波吉州工場、日本マグネ興度

正

原理に達する模様で、こ



型景気が出現するわけである。更 の新設をも合すれば素暗らしいで

朝鮮金融組合聯合會

慶尙北道支部所屬各金融組合

水、産資源の開

慶

尙

道

大北

邱立

殴四

院

土木建築三億圓

飲としてて掲が新設され、それに あつたが十二年度に於ては更に陸 本工業工場の新設は夥しいものが 島景氣の彼に乗つてこの



鮮鐵道網 完成後の朝 野

氛 

紹八千八百四年間にのし上

深わて成北明川都では我が國版初

既当の好い打診をしてゐる、明一

い野菜別館を背負って起つた有力

### した、先つ日本鑑業會社の鎮南「項與線防もゴールドラツシュが生 他は殖眠の有性語取の主唱によつ んだ有力的社の一つであるこの節 道知事)を可長とする朝鮮聖謝長 同六月に竣工式を単行したが削立二月に作鑑し吹込操業を開始し、 て削立され、昨平一月銀江へ口の 思用長項には氏理練所を建設、 変更された、炭床開設を唯一の s 適當な演事質を設定、 急に素同に 腰を扱かさぬ御用心 吹き色の氾濫

# 鐵道・港灣の五ケ年計畫 **労銀**だけでも二億**員**

に呼感して、起も上った民間事業の鑑賞はど に微進年島の明朗回を奏でながら堂々たる大

生毒の眠りを使った地下症源は物師の扉を聞いて、目も数

間、京添間の既定の敗良は二千四

新時代を超く耐楽曲をかなでるが四百九十五萬國の豫算で来る半島 力をあげて閉通に邁通し少く共三間の京春繁造の六私影が強れら全 仁川、水原間の水仁鑑道、新義州道、配曽浦、龍岡間の版学を鑑賞 湖、道殿間の三陟嶽道、京城、春川 多場所間の多種島臨道、東海岸監 して、咸北端川、豊山間の端豊雄 一方私蹴方面でも黄金時代を高歌

六私鉞一齊進軍 の明白たる奥峰が流れること。一半島の經濟語動の観動力となる級 栗界の活躍も想像以上に活泥を呈 業等に刺戯されて出場する大丁 う。このほか懲直、潜蔵、水中 の工事もぐん!」促進されこれと 北の黄水院、宮殿南水力海雪事業 の建設前後、道路の開整、大小建 脱土木弾栗方面の投資額だけ

う。このほか鑑道、海殿、水電車、に約卅ヶ所の新工属が職ばしの銀六百萬國は影銀として撤布されよ。度進行概應はどうだらら、中央線「千萬國內外の工事びのうち五、「急げや急げ鑑道の建設工事の今年 闘弱が過度を加へゆく一方、笹山一せて一

雨上思山富田四十二年 | 南田野 | 南田野としてこの上ない総総を野所上深市−大五是 | 刺山 | 清潔 | がて六分も近しと見られ、図有総の上の | の面壁(既改) | 市安 | がて六分も近しと見られ、図有総

大治師も着々完成への世度をのばしてゆく、この絢爛極まり年、幽半王國と似て河神の完成をあざした曹叡北朝の國敬臨国院道路の貨域となった、力強さわれら同館の對域を成のた。力強さわれら同館の對域を成の進

※通するとなれば三倍の九億か! 今年開通の新線

ル戦中地帯で大地と科室の脏態な 今年度の数人譲越だけでも客僚会実を弾かし、竹鑓、雑点のトンネー 認元されて繁楽歌人は申し分なく 事などもあり、

複雑記法、大本館の建設に軍の作一赤字時代を豪服して、逆に黒字時 歌、三浪戦間と大田・永登神の唯一の超出歌を攻動され、多難たつた 國際道路の實現となった、力強さわれら同胞の對韓校民 むそうな姿然だる姿を現して来たではないか、産業開発練盤 である、鮮丽一如の大方針は悶珠江水利の閉穂、國際楽橋、 の堂々たる整備も半島第二四年世紀への朝々たる進軍ラッパ

このメブついた正常でかい語彙は一年間、原城の三世良事務所の類談 の原果となって、年島は詩野界を一 門地の工場と従事はに朝鮮を認識

終了するが、一部取良工事の優工 はざつと四個側に達する見込みで **瀬町し、この間観道開館の投資紙** ある、この一面提派は認道自身に

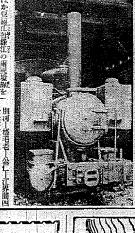
大 慶尚北道廳

片倉製絲紡績珠會 大邱製絲株式會吐片倉製絲紡績裝會吐 鮮 生絲株式會 MI

朝

## 會曜金邱大

朝東漢殖商合朝 鮮洋城產 信拓。 鮮 託殖 銀銀 會會行行 銀 工同 社社大大 大 支支支支 支 店店店店行行店



地底の實

一意元子

の大煙突…成北阿吾地の石炭液化…本格的操薬開始の長項製錬所…咸南文坪

北茂山の磁鐵錶採掘……清津附近に大 鎌爐新設……世界一を誇る鎮南浦日鑛

の住友製錬所…三陟無煙炭田の開發…平坡、出炭 百萬縣祝賀……鑛業朝鮮の

花形マグネサート登場… 鑛業警察の樹立

一こごし掘り出

としてみたけ織門方民は復活| 野

業態が特に危望を行ふ羅業に對し

朝鮮鐡道最初の機関車

職業は明帥な至家の内に青まれ、 況はます!一常道となり、朝鮮の

のため、昨年五月内駐當業者多数 一鮮の花形としてデビューし、さら を主催し、平壌無煙炭の販路 城大 リンカー――年額二 英雄、同雄豆 上撤退をかけたが、さらに無選接<br />
一千二百種生産の工場を建設、増 に使民と阪路網の拡大催化をはか。川マグネサイト蟹床と同様選業朝 水銀五千更種と云ふ素明しい養床も豊富で、殿南端川郡北半日面で

に非常時日本の立役者として一九

の加速度競遊の無情に養み、尾去

は る部である、総布の略は蘇業の状 5 ・ 質情に適した規則を制定、総布す の ・ 質情に適した規則を制定、総布す の め特別の取締を行うことは當然な

この中容銀に一億国内外が散布さ

の出席を求め、第一則無難炭酸液

その結果領事度から概

三七年のピンチを切り扱ける。

華やかな難進譜を奏でるであらう

時で回唇器の架橋等々を入れると 一切合脈で少く共三原側は突破し 北は原境線から全郎にかけそれこ

管貨庫の注文もどつとばかりに内 し切れず内地に流わ出る部も野 大戦景気の再來 橋梁、レール、機関車 于して新國際認道の出現を力量く 二千名の大増員

大興電氣株式會大邱府東門町

雕

電話長三〇七〇

早くも<br />
痛し痒しの<br />
苦心をしてゐる

江風までの南下と封圧面船側と掘 逝し、やがて買場するであらら中 鍛織告州から財

世工岸忠山旗に全

も惠山線は看し以来十一年目で蔵 の三線百卅一杆五分が閉道、中 岩 | 天津 | 県草 | 大浦 | 性数

獲陽間四七二开

くゆくかどうか、観信方面では

当自七十三幡の大量建文が郵頭で 。鐵道局の退輸増備五ケ はか、三百五十萬國の巡閲費で、 でも同時に着々陣客の職大場化を認道景派の生みの親である勝道局 際、事業の伸展による地方の鑑道 目ざして進み、中等、専門、大學 の新路業生を約六百名新採用する から報佐原業がでは一手名の大量 人を地段する器であるが、金融者

引成となる情様である 完全に赤字克服

徳二千萬画で勝道河業以来

**▲諸連線・削川(既設)―變方― 待されてある(藤卉生)浦―黒山鎮間四十二粁** 道証登としてこの上ない所―梁市―大五是―親山―諸麗 道証登としてこの上ない

食堂貝

fi

府

邱



www·農林局長 大

付ては官民協力して之か三大なる

a a a a a a a a a a a a a a a a a a a		The second secon				=)
電話二〇四	田田	電話五十	小登浦タクシー	} -	<b>登梁津柳行李製造所</b>	
	ł			所 尹 秉 禧	京城府本綱町 錫 馬	F
京城府永登浦町五五〇クーニ大瀬重・塩子和工務所	a. 加	型 若松清治郎	京永貨物贈車部			
型英統計	2 } 1 }	朝鮮亚芝株式會社出退所	- ;	<b>東東田近吾</b>		
「豆城粉水登前町(郵便廃町)	八點鴻路盛樓		池田長次郎			
崔 秉 鎮 工 所	~ ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	}	龍苗取次二三番	11. III 150		
常語に二四番	型数	永登浦日用品	山下菓子輔	源藏	所長 森 高	ĬĮ.
社交場	・	宮 入 公 男 と	宮及	職員一同	一	
	*************************************	孝		私立思醫學校	きを見る	
<b>请</b>		土藤 瀬 男	<b>展</b>	金基基	1	
金 銀		尻 常 太		松本杉藏	<b>沙田車十水</b>	
+ リビヤホー	漢江醫院	宮本路		藤田義雄	江選之	
霞が	· 报		第	小野雅文	<b>中</b> 息養	- 10 Miles
<b>水 永</b>	<b>養養 王 仙</b>	元 田 #	院長	本田貞五郎	村三	
角	清 油和 田 長	<b>病</b> 一 <sup>消</sup>		安養プール保存會	3 .7	
7145	栗原欢郎	浦麗		直		
<b>島</b> <b>陰</b>	>	市 <b>醫</b>	植		~ }	
波 支 エ	東洋資産資祉 ・	長 田中富士太郎 田 田中富士太郎	<b>発掘は2番店へ御下命願びます 一種・「糖」を 11 月 7日 12</b>	真 堂 一 昇	外門	
本社 江原道江陵呂本町	水倉浦韓地	* · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	水管消曝棉内頭店		前	
电触染层体函		办管消及异 <u>工</u> 块	超超四四番	覚郎	<b>松木田恒助</b>	
	瀬川東京 (日) 日 瀬川東京子 (日) 日 諸官國及金宝館	一、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	性不够 厄克克子工耶		京城府道林町旭ヶ丘	3
· 章 浦 出 張	}	日用百貨マルイ 商店	中川東部四番一	久保小右衛門 外質局及管理販賣所長	横尾武敏	
で			<b>申</b> 日間 重	京城府未登画町	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
崔俊			上 以本 注 注 注 注 注 形 作 用 足	河野盛初	監 <b>鄭 鐘</b>	
	・ では、	「	「日本   1   1   1   1   1   1   1   1   1	田	中川運送店   中川	1

₩ = + <b>-</b>	大百四萬-	<b>- 3</b> 3	(ন	認物健康和三第)		幸民	日城	水		日)	REA.	<b>一年二十和昭</b>	(人)
<b>3</b>	ST.			A. T.	涛		-	P					
型 平 中 應 植型 平 中 應 植		林兼事務所	の 業 商 店 の 北川県東海 本		题 含白釀造場 應出C番 (10 )	原和大曲框。 原和大曲框。 原和大曲框。 原和大曲框。 原和大曲框。 原和大曲框。 原和大曲框。 原和大曲框。	生景與	新型車 宋 桂 永 新型車 宋 桂 永		河 學 周	北龍浦出張所 北龍浦出張所 北西樂 井 上 組	在	* 渡部七兵衛
「	山月山浦油山	話古五	海砂 量	の を を を を を を に に に に に に に に に に に に に		理事瀬 戶 甲 一種食 濱 田 惟 和	東北浦項港 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	料理屋組合 新星 是组合	安化 消 項 學校職員一同 公立等常高等。校職員一同 公立等常高等。校職員一同 公立普通學校職員一同 安 北 浦 項	全	<b>す輪</b>		の では、
*************************************	<b>医</b> 李 珍 永	光州稅務署	崎 辰 ·	形州刑務所	光州警察署	武田 鐐太郎	<b>金</b> 信 錫	內山重夫	藤本二郎	相馬與作	森安孫六	迎日郡廳員一同	浦 項 器 友 會
足立東三	中野次郎吉	光州劇場	圖 久 野 初 藏 -	渡部洋服店	<sup>光州於本町</sup> 鹽屋 百 <b>貨店</b>	巴鐵工所	横山精米所	田中俊助	岩橋朝一	樫	寫州。」	九	由紫紫
金貨費	金俸寶	一   店	<u> </u>	179	食全堂羅		那西西亚科拉克 安 大馬西亚科拉克 安 大馬西亚拉拉克 大 白蜡型油及皮皮 大 阳 国显现地及皮皮 大 阳 山野油煤石 大 岩石 计 一种	124	光州	光州	大興電氣	が	秉复
選 山田 至 朗 同	. +		<b>沙</b>		員 一 同道	作 変鶴 徳 良 重	井本 森 佳	田田尾石田 謙 第久鎭親 之	府廳	光州支店	※株式會社 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	東賣局性出張所 、	湖南銀行靈光縣
全南運送株式會社	職 員 一 同	光州中等學校長會	光州酒造株式會社	<b>心長小林善太耶</b>	全南トラック運会株式會社		光州金曜會	川原青秀	· 高 岡 利 市	原野貫一郎	藤藤	ボッヤ金堂 <b>竹内</b> ツョ	光州開業醫師會
玄錫	湖南銀行長城豉	能原 家作	十時護	Selection of the control of the cont	朝全全羅南	didenti	Mary Ab	全南郡 维州 維州	remonitorioriorioriorioriorioriorioriorioriorio		銀   ブ	水	。 第二章 第二章 第二章 第二章 第二章 第二章 第二章 第二章
外職員 一同餐城警察署	職 員 一 同	初等學校一同	<b>横山</b> 朝雄	The state of the s	金融組合聯合會蠶支部權 南 道 各 產 業 組 合	en en proper en	紡績微光州工	全南郡是製絲株式會社鐘淵紡績株式會社全南工場近州 纖維工業俱樂部	The interest of the control of the c		大興自動車會社	外職 員 一 同縣津警察署	職員一同
	19/6	~		Anidain diababata	3 c	& A			<b>/</b> ->-/		•07∙₀	8 2	

が、寒さな物

大慢速を跳落して僅か明けて十八

源井田紫雅に勝てれば行の

は、ぞくりと水を打ちかけられた

が辿ったか、提牒は察えつきてゐ

と、見詰めてゐるうちに彌太郎

たさうだ。質は推進、説を厳して も、構造の繋が掘ったらしい。

の後、九ツを含詞に、 大杉の下で、拙行

黒軍流ニニの遠へでないか。

一得る単低の名と、討たれ 断られに行くぶかし

状たせようとする。公情は有難いか良いか拙者は知つてゐる。命を 2武士の急祖を示すのと、どちら

酒となった。頁借みといふ奴で、 拙者、料照をきめた。癥失敬

一向版やんでをられて

脚友の貴を背員つての逐電だり

とず見てゐてくれ。 又、助太刀な

かも、足計に飼容か倒れてみた。

此中の重要性が記出されるのであ

度 後川 酉 生 場川 酉 生 場川 酉

らず到党団の程お別申上有難ら棚座います本年も

職間 職所 建 開 屋

旅

券

番

明…日…の"話…題

を吐いた。あたりの顆が異亦に染

地に投げられた提灯が超

(人と笑つた中から、起散

**提灯を傾けた。火が回** 

映畵女優

も既認能する必要に迫られて来た

地平線は「河内山宗便」であがれ若人よ」が域女出演

理能の

キッパリ申した。すると八太夫は

朝日商一一會

變量植四原五郎 株式自社コマヤ県服店 京城府三町十一首加京城府三町十一首加 角田被 原葵會社

というのでは なずのでき 京城府兀町二丁目八三 京城府国大門通り一 **戸城 支店** 

元明明金田型一京場所新リエニ 京城府元町一丁目 電話本局八八七番 

范瑞本院(2)四一四番

京城府漢汇通十一番地 會 全 大

型調用 三七ン球合社

H

八七 四二天六

藥房

諸機械及建築材料商諸機械及建築材料商

電話服本局に対大力を対対するとは対対していた。

京城出張所

現版権町三国

而本八八八八

京城府日之円町

京城府改造单十二番地京城府改造单十二番地京城府改造单十二番地

京城出張所 齊 質 雷 會

志岐工業株式會社

電話本局三〇五番

彼なが、日本映場界の俗語に汚

京城支店

企业 企业 企业 最 社

京城府三坂通一〇三番地

楠見組京城支店

電話龍山長(4)八四九番

二一月十七 門本田田〇一

画面

今にして思へば、概は弦でも、

加藤新聞中

內紙店

**飛話本局八五四** 

丁目

盤石田

タナ

照解本原王六一九

Ŧ

可 べ美粧館

京城府旭町一丁目

美術

俱樂部

范部本局:上二四番

丁目二〇四

津集文堂

告訴本局三九九二番 朝鮮

水産 會

京城府黃金町二丁目百六十三 明治生命保險珠會社 支

電話本局〇四九八番

松馬遊園珠會計

明盛に、ぐいと語が耐へた。

一頭は、筋でるものかし

代 **電話本局五○三五番** 本

築村區器 東華洋

朝鮮製綿珠會社

組

電話龍山(4)一八二番

內田又雄

如是閑の場合

再考察

より軍天在一半の理由一般であつた。 近親的ではあつたが仮の言或にあるかも知一あつたが置かつた。 如果限さ解さ

の意味では、吉野が一番郷かでは

今日こそ文明に節が必要になった

朝鮮產與公司社 是	山藤業 { · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	一清津水產團體 一清津水產團體	北鮮鐵道事務所 市津府港町一〇 北鮮鐵道事務所 會	現場   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東京   東	延安税務署 一種員一同 一種員一同 一種員一同	中	(百四萬一菜 (可翻版明三第)
道會議員 山米穀商組合 一尾 正 一 一尾 正 一 一尾 正 一 一	高原泰 群山遊廓組合 群山遊廓組合 群山遊廓組合 群山遊廓組合 一 群山遊亭来樂會社 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	清津 本	北 鮮 鐵 方 海 海 海 海 船	Market in globally open all produces and all produces and an extra control of the		前餐數學的學學的學學的學學的學學的學學的學學的學學的學學的學學的學學的學學的學學的學	SE ST H
世孫三郎 	野	清津星ヶ丘貨座敷部 清津星ヶ丘貨座敷部 清商館 東業産鮮土 曜 食支支支 砂油店店 配面店	工 津 北	中 井 良 東	を を を を を を を を を を を を を を	宋張入徐申泗 延安幽科 整设 幽科 明	E A F
1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	清津星ケ丘貨座敷館を選択でする。	工 津 北	辛良	安郡院	湖命 <sup>江</sup> 圭鉉 教	茅戶
	<b>新聞</b> 泰	青車星ケ江資座政権	清船		「 1993年       日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日	故 妓 勇	
群山土曜會沃溝郡五日會	群山出張所長			(中央) (中央) (中央) (中央) (中央) (中央) (中央) (中央)	黃海水利組	<b>上</b>	報日
會員組合群山米穀取引所群山米穀取引所	群山郵便局	清津貯油場	金基 德 商 店 製材所 茂 山山 東移所 京 城 山山 城	德 弘 要 商 店	整大型		智
大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	議	才 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	朝鮮電氣株式會社	海性所謂知利之人等地 河性所謂知利之人等地 河性所謂知利之人等地 可能用。三次公経 高。 木 屋	畑	斯爾拉達安斯爾拉達安斯斯 (1985) 1883 1883 1883 1883 1883 1883 1883 188	羅 日)
	湖南農具綠會社	油肥製造業	北鮮滿鐵土木	清津郵便局	校長 官司 格例 通過時間 中國	生 在 的 起 三 列	
# 計画	加田研三 一种出版系章 一种出版系章 一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种	清津 支店	成北自動車株式會社 東 條 正 平	满鲜土地遊會社 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是	御東部 英語 金 永 杉田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	延鐵安自	

半島少年が超中等級の好記錄

東京大會に深き期待

意氣を更新特に弾かり

斷然飛躍の年

村田宮三郎 所

金二 新 上 馬 商 店

**駐** 

土佐野國太郎

何處へ

京城府廳王座を確守するか

半島球界の制爛繪巻

「年も工座を護つ 帝都にその名を揚げ

等、専門とも

喜田



よき指導者たら

富水朝鮮體育協會長

な基礎を築き

# 對局者の言葉

灰

超科醫院

腰高鄰太

鄓

然般水 料米材

水

落

商店 商

松

男

カフエーア

では四四番

四二四二四河

F.

版 版 紹 紹

果樹園

銀二浦營業組合

大 久

保

農

園

千代松

一同

東二浦

TE 三四安

(一位堂樂房 ||仁堂樂房 果樹園 光義

藤井幽科醫院

松二

二 屋<sup>前</sup>

酒

店

堺<sub>二</sub>

中屋前

雅二C番 動 店

沼二

旗獅

太

郎

語画計 公子 公子 (古) TIE 一番

職

舱 简 ----

組油 原出 骤 張

助所

員

**銀**二浦公立尋常高等小學校

離森**六商店出張所** 聲森 農 場

同

補

枢

職員一

同

井

原

伊

之助

前三番

旅門審館

光會 舘

賀

#

巤

志 Ħ

黄

職

黄州郡廳 貝一

 東二浦代行 營業所 東道門及指 東道門及 東道門及 東面 東 東面 東面 同 職

**咸興稅務署** 員一同

期鮮成與軍營油 倉掛醬油店 部門三番

=

群仙官公署 署員 同

黄州產業組合

只 一 同 金融組合

幸

平 佐々木牽雄

翻清

電話二九電 繁

